

旧式トイレ爆発。充满していたガスに落とし込んだ煙草の火が…。何となく汚ない話しだが、よく聞く話である。幸にして我校は水洗なので、そういつた恐れがないと言つて喫煙場所にしてよいものか。トイレはごく一部にすぎず、部室行くと、一層ひどくなっている。どうしてこうも校内での喫煙者が多いのだろうか。時代のせいか、先生方をはじめ多くの大人たちから煙草の有害を聞かされ、喫煙を禁止されても、どこかピンとこない我々だが、それでも、自分の学校ながらこの学校の喫煙者の多いことは驚かされる。ふだん煙草を吸わない我々にとって、制服や机にしみついた煙草のにおいは実に不快きわまりないものであることをしつかりと知つてほしい。

煙草を吸つた経験のある人ならわかるだろうが、吸つた後に入るあのだるさ、肺に入った時のあのが、もう一つの服装について一緒に

主張

若さからくる
若高堅気

我々は高校生だ。個人的にも社会的にも大人とははつきり違う。その分別をわきまえないと突發的な行動を押さえることこそ、高校生としての正しい理想的な姿ではない

下駄箱が設けられたことになつた。場所は北棟校舎下である。下駄箱は

正當な自己主張として、我々の先輩方のようにかつての坊主頭から長髪の自由を手に入れれる事もできるべきだ。そして、伝統的な「やぐら」を復活させよう。

この運動が、積極的か？ おそれだけ生に申し出るべきである。そして、生徒だけで作り上げた「すばらしい体育祭」にしていこうではないか。

若生よ、今こそ立ち上がり

正當な立場を取るべき生徒会も、やはりこれを否定する大勢が正しく思える。自己主張ではなく

>>> 若高復活 <<

— 生徒会は強くあれ —

現在、生徒は生徒会の事をどのように考へているのだろうか。生徒は、「生徒会」「生徒会執行部」といふ考へていると思う。

本邦は、そうではない「生徒会」である。

その現れとして、生徒会の行事である「体育祭」と「文化祭」である。

そういう根本的な問題ではない。

ここでこの現象とは、前までに書いた

風紀・美化とかいつての問題ではない。

まず文化祭を例にあげてみよう。近年

は、シラカムード

めまい、この不健康な感覚が未成

年の喫煙を禁止しているのだ。実

際、一日に何本もの煙草が、まだ

どうだろう。

次に体育祭だが皆さんには、職員会に、投げかけては

どうだろう。

まだ心身と共に発育過程にある我々

の「創造」というものを積極的にやり、このよしな案

を職員会に、投げかけては

どうだろう。

次に体育祭だが皆さんには、自分の不注意もあるだ

う。また、やぐらの材料もあげられる。この材料の木は、学校側が借りている

落ちて、負傷者が続出した

ということらしい。「これ

は、自分の不注意もあるだ

う。また、やぐらの材料もあげられる。この材料の木は、学校側が借りている

落ちて、負傷者が続出した

投 書

やる気を出せ！

L・H・Rのひとこま

現在の若高のL・H・Rの現状を、考えてみよう。毎週火曜日にあるL・H・Rはクラスで討議をしたり、グランドや体育館でスボーツなどをして、クラスの和を計らうとするものである。

しかし、今の若高の状態では何のためのL・H・Rか、わからないものとなつてゐる。

学期の初め、クラス討議の議題を決めるのが、その態度でさえ悪いのである。どのクラスも議題が発表されず、最終的には、H・R委員会から出された

事がある。

たまに、クラス討議をして

意見が、出るべきではない

だらうか。

本当に、クラスの雰囲気をよくし、和を保とうと

するならば、もっと活発に

事を忘れてはならない。

たまに、クラス討議をして

意見が、出るべきではない

だらうか。

たまに、クラス討議をして

意見が、出るべきではない

クレオバトラ抹殺

この学校の中にも、多かれ少なかれ、次なる者がいるのは、誰の目にも明白な事である。

それという人物は、気高い自己意識を持っており、常に人を鼻にかけた言い方をする人の事である。これ

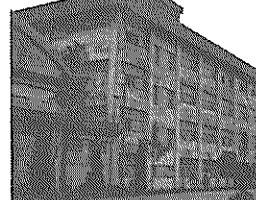
はたして、こういったクラス討議の積極性のない状態である。

たまに、

他校訪問

十二時四十五分に、授業が終つて食堂に行くと、生徒が我を忘れて大奮闘中である。食堂の問題はここから始まる。食券を買うのに割り込み、又買った者が出てくるのに押され、前に進むどころか後へさがる。やつと前に並んでも自己意識の強い声が横から割り込み、言いそびれてしまうのである。これはまた文言で「序論」である。食券を買うと、すぐ混雑しているカウンターに割り込んでしまうのである。さてここで一般生徒の意見は、「待たないで我れよ我れ」と先に取りに行く」とこの様な意見が多く、一列に並んで順番を守るようにして欲しい。並ぶ所をつくつて欲しい。広くして欲しい」と食堂の改善を要求しているのが多かった。しかし設備の問題より、もしくは食堂の改善を待たないで我れよ我れと先に取りに行く」とこの様な意見が多く、一列に並んで順番を守るようにして欲しい。並ぶ所をつくつて欲しい。広くして欲しい」と食堂の改善を要求しているのが多かった。しかし設備の問題より、もしくは食堂の改善をつくつて欲しい。広くして欲しい」と食堂の改善を要求しているのが多かった。

同校は、昭和十二年創立、現在の位置に移ったのは、昭和四十年のこと。在校生徒数八百四十名、一年生二百八十名で、クラスは科により分かれている。いずれも一クラス四十人で建築科・機械科・電気科がそれぞれ二クラス、情報科は一クラス。男女比は四対一、女性徒数は全校で二十三名と、工業校ならではの特色を見せている。それほど女子が少なければさぞかしモテるのではないかと。校内は、さすが工業校とおも



女の子ちゃん

かわいそう……

戸畠工業高校の巻——

六月十二日、我校新聞部員五名は、真夏の強い日ざしの中、戸畠工業高校へと足を運んだ。電停からゆるやかな坂道を登りつめたところを姿を現わした。



今回は、風紀面、生徒会行事を中心に内容をひろげてみました。いかがでしたか。楽しい夏休みでうきうきする前にもう一度、今のみなさんのまわりを見つめ直してみてください。かたい記事ばかりだと思ったら、たしかにこんなことがあるな、もう少し考え直さなくては……。と思っていました。新報部員は、みなさんにもう一度自分というものです。

きっと大部分の人がこの新聞をもって帰ってくれると思いますが前回の新聞のようにごみばこを山にしたり、風よけにガラスにはつたりせずに、机の隅にでも入れておいて、ヒマなときにでもう一度みなおして下さる事を信じています。では明日から夏休みがみなさんにとてハッピーでありますように!

近年、変りつあるのは、就職・進学のこと。

就職難の急進学を希望する生徒

も少なくないとか。だがやはり

就職の方が多いとのことだった。

新報部員は、みなさんにもう一度自分とい

うことです。

最近特に、頭髪・服装が乱れて

きているということだ。

授業の始めに「上

かわいそう……

かわいそう……